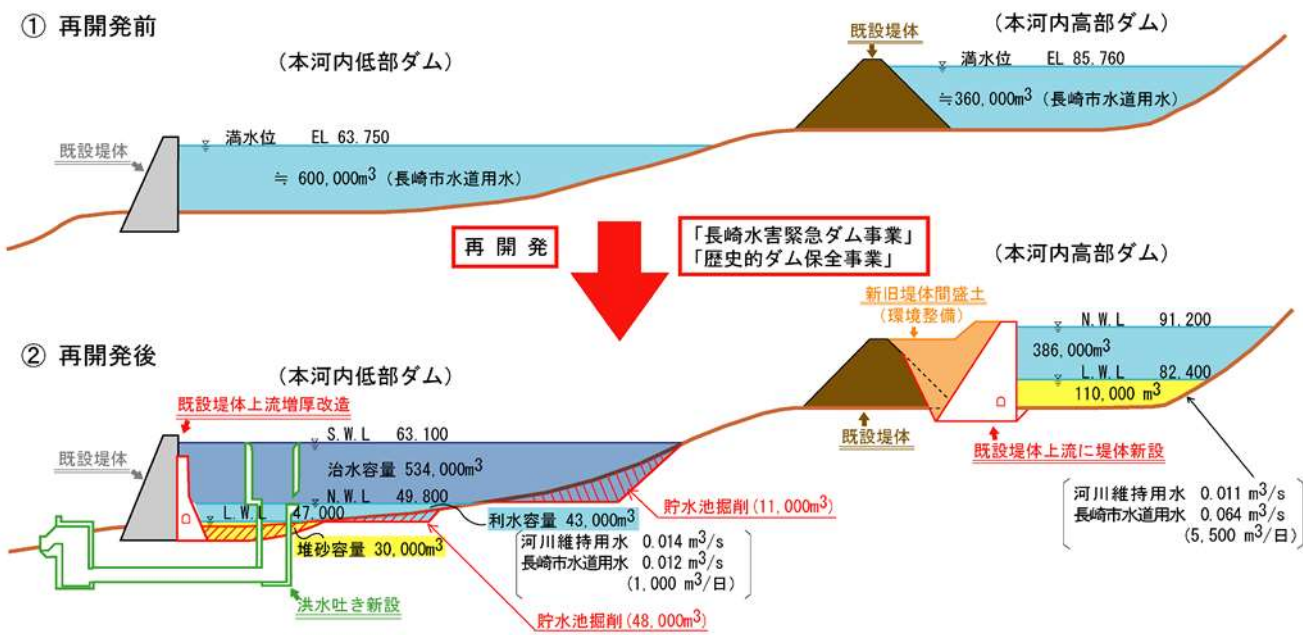


日本初の水道ダムの改築

本河内高部ダム・低部ダムについて、明治年間に建造された歴史的に重要なダムを保全しながら、長崎大水害を受けて、洪水調節機能を追加した新たなダムに生まれ変わりました。

本河内高部ダムの再開発

本河内高部ダムは、ダム規模をできるだけ抑えた再開発形式として、既設堤体上流約 55m に重力式コンクリートを新設しました。新設堤体は、再開発後の貯水容量を確保するため、既設堤体よりダム標高を 4.7m 上げました。



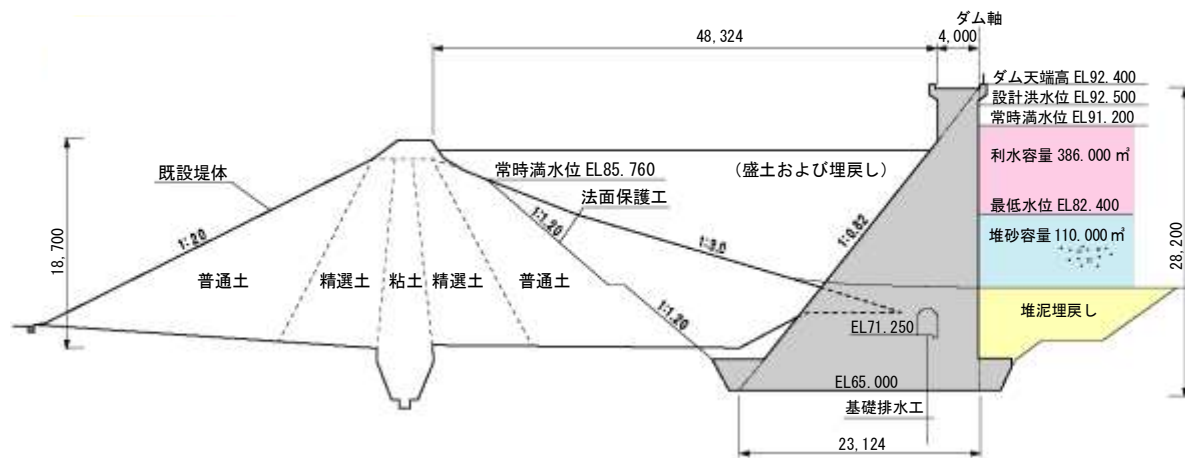
本河内高部ダム・低部ダム容量配分図



本河内高部ダム写真 (左) 再開発前、(右) 再開発後
 旧堤体の上流部に見えるコンクリート壁が新堤体です。新旧堤体の間は、公園として整備されています。



本河内高部ダム平面図



本河内高部ダム標準断面図